

令和7年度入学料免除申請要領【第1回目提出分】

下記に掲げる「1. 免除選考対象者」のいずれかに該当する場合は、本人の申請に基づき、選考の上、入学料の全額又は半額を免除することがあります。免除を希望する者は、下記により申請してください。

1. 免除選考対象者

(1) 大学院研究科に入学する者で、経済的理由により入学料の納入が困難であり、かつ学業が優秀であると認められる者 *注: 学類生はこちらの理由では申請できません

2. 申請書類

(1) 入学料免除願 (別紙様式第1) . . . 1~2頁 【第1回目提出】

(2) 提出書類一覧表 (別紙様式3) . . . 3頁
(3) 私費外国人留学生の入学料免除等に関する調査 . . . 5頁
(4) 本人等の収入状況申立書 . . . 7~8頁
(5) (2) で該当する証明書類 } 【第2回目提出】

3. 受付期間

Table with columns for start dates (12/13, 2/11, 3/7, 3/21) and rows for application periods and submission dates. Includes a note: '第1回目の「入学料免除願」申請後に第2回目提出の手続きを進めてください。' and a box for the 2nd submission period: '令和7年3月15日~令和7年4月1日 (受付期間最終日の17時必着のこと)'

4. 送付先

第1回目提出書類: 入学手続き書類に同封して提出してください。

第2回目提出書類: 必ず簡易書留で下記宛てに郵送してください。

〒960-1296 福島市金谷川1番地 福島大学 学生・留学生課 生活支援係 入学料免除担当

5. 注意事項

- (1) すでに入学料を納入している者は、免除申請できません。
(2) 選考結果が発表されるまでの間、免除を申請した者は、入学料の徴収が猶予されていますので納入しないでください。
(3) 選考結果については、学生向け連絡サイト (LiveCampus) でお知らせいたします。(8月中旬予定)
(4) 選考結果が不許可又は半額免除になった者は、結果発表の日から14日以内に所定の入学料を納入するか、学生・留学生課に徴収猶予の申請をしてください。
(5) 申請書類に不備がありますと選考から除外されますので、本要領等を熟読の上、申請書類に不備がないよう注意してください。
(6) 選考を適切に行うため、その事情を証明する書類が必要です。
(7) 月額10万円(半期60万円)以上の給付奨学金を受給する場合は免除対象者になりません。

<参考>免除選考基準

(留学生用)

前ページの「1. 免除選考対象者」の(1)に該当すると認められる者は、申請者の属する世帯(以下、「世帯」という)の特別な事情によって異なりますが、おおむね下記の「1. 収入基準」以下であり、かつ、「2. 学力基準」を満たしていることが最低条件となりますので申請する際の参考にしてください。

なお、あくまでも「免除選考対象者」に該当すると認められるのであって、条件を満たしているからといって必ずしも免除になる訳ではありません。

1. 収入基準

世帯の特別な事情により異なるが、世帯の年間総所得金額が次の収入基準額以下であること。

区分 世帯人員	大学院生(修士・博士前期)		大学院生(博士後期)	
	自宅通学	自宅外通学	自宅通学	自宅外通学
1人	124万円	168万円	160万円	204万円
2人	180万円	224万円	240万円	284万円
3人	205万円	249万円	273万円	317万円
4人	220万円	264万円	294万円	338万円
5人	236万円	280万円	316万円	360万円
6人	245万円	289万円	330万円	374万円

* 総所得金額＝総収入金額－(1)必要経費－(2)特別控除額

(1) 必要経費

○給与収入者(給与収入者が2人以上いる場合は各人別に行う、収入金額は所得税等控除前の額)

- ・収入金額104万円以下 ⇒収入金額と同じ
- ・収入金額105万円～200万円の場合⇒収入金額×0.2+83万円
- ・収入金額201万円～653万円の場合⇒収入金額×0.3+62万円
- ・収入金額654万円以上の場合 ⇒258万円

○給与収入以外の者(商業、農業、その他の職業及び臨時的所得等)

その収入を得るために費やした経費(税申告書の必要経費)

(2) 特別控除額(世帯の特別な事情)

就学者、障害者、長期療養者等がいる場合、母(父)子家庭に該当する場合等に控除されます。

就学者＝小学：31、中学：46、高校：39～118、高専：39～118、専修39～147、大学：74～180

心身障がい者＝99、母(父)子家庭＝99 単位：万円

※各種ローン・借金等の負の所得は、一切控除の対象になりません。

2. 学力基準(大学院研究科)

出身大学(博士後期課程入学者については修士課程または博士前期課程)で修得した科目数の70%以上が「良」(B)以上の成績であること。

* 学力判定は、出願時に提出された成績証明書等を参考にします。

入 学 料 免 除 願

福 島 大 学 長 殿

申請者 (自筆)	所 属					
	受 験 番 号					
	氏 名 <small>フリガナ</small>					
	現 住 所	(〒)				
	携 帯 番 号					

令和7年度入学料の免除を許可くださるよう関係書類を添えて申請します。
 なお、記載事項に事実と相違があった場合は、入学料免除を取り消されても異議ありません。

1. 申請理由 (学生本人が具体的に記入すること。)

.....

.....

.....

.....

.....

.....

2. 家庭状況

	続柄	氏 名	年 齢	現在の職業 (勤務先)	給与収入の計 (千円)	給与収入以外の計 (千円)
就学者を除く家族	本人			学生 (福島大学)		
大学認定	家族数	人	独立生計者	<input type="checkbox"/> 該当	母子父子世帯	<input type="checkbox"/> 該当
	申請区分	1:一般 2:家計 3:学力 4:事由 5:事情 (家計支持者死亡) 6:事情 (災害) 7:事情 (その他)				辞退

※ 部分は大学記入欄なので、記入しないこと。

就 学 者	続 柄	氏 名	設 置 区 分	在学学校 (学年)	通 学 区 分	前年度状況 (国立学校就学者のみ記入)		
						授 業 料 免 除 状 況		授 業 料 年 額 (千円)
						前 期 分	後 期 分	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校 (高等課程) 7専修学校 (専門課程) 8その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校 (高等課程) 7専修学校 (専門課程) 8その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校 (高等課程) 7専修学校 (専門課程) 8その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校 (高等課程) 7専修学校 (専門課程) 8その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	
			※ 1:国立 2:公立 3:私立	※1小学校 2中学校 3高校 4大学 5高専 6専修学校 (高等課程) 7専修学校 (専門課程) 8その他 学校名 (年)	※ 1:自 宅 2:自宅外	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	※ 1:無 2:全額免除 3:半額免除	
特 別 控 除	母子父子世帯	※ 母無： 死亡・生別 (年 月) 父無： 死亡・生別 (年 月)						0:非該当 1:該 当
	障がい者の いる世帯	続柄 () ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者 (障害あり) 続柄 () ※ 障がい者 ・ 原爆被爆者 (障害あり)						人
	長期療養者 のいる世帯	続柄 () 1か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養 続柄 () 1か月当たり療養費 千円 療養期間 年 月から ※ 入院・通院・自宅療養					合計 (年額) (千円)	
	主たる家計支 持者の別居	1か月当たり住居・光熱費等 千円						
	災害・風水害・ 盗難等の被害を 受けた世帯	災害内容 被災額 千円						

記入上の注意

1. 〇の欄は大学記入欄なので、記入しないこと。
2. ※印は、該当箇所を○で囲むこと。
3. 記入内容は、令和7年4月1日現在として記入すること。
4. 家族の職業は具体的に記入すること。専業主婦、無職等の場合であっても空欄とせず、その旨記入すること。

記入いただいた個人情報は、免除等選考のために利用され、その他の目的には利用されません。